



タスク・シフト/シェア講習会を企画して

森本 弘美（香川県立中央病院）

令和4年8月28日（日）香川県立保健医療大学において、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会が開催されました。

昨年度は3月に開催を予定しているながらコロナ禍の影響で延期となり、香川県での開催は今回が第1回となりました。今回も感染拡大第7波の中での開催となり、感染対策に最大限の努力をしながらの会になりました。受講生にはマスク、フェイスシールドは常時着用、当日の健康票の記入と入場前の検温。手指消毒の励行、食事は間隔を空けて黙食で、と様々なお願いをしました。

感染状況によっては定員割れや、講師の先生の欠席の危惧もありましたが、なんとか50名の参加者の講習を修了することができました。

日臨技の指定する360分の講習プログラムを、決められた実習用具を使って実施しなければなりません。実務委員のメンバーも昨年講習会を受講したとはいえ、準備は初めてのこと、本当に講習会を開けるのか不安でいっぱいでした。実務委員は日臨技の規定では8名なのですが、香川県には実務委員のできる会員が6名しかおらず、徳島県臨床検査技師会に協力を依頼しました。徳臨技の藤田さん、吉田さんには前日の準備、当日の講習担当以外にも、事前に多くのアドバイスを頂き、本当にありがとうございました。

講習会は、受講者がグループに分かれて、3つのコンテンツを部屋をローテーションしながら順番に受講するスタイルでした。実務委員も指導者の先生方も初めてのことでもあり、時間不足が予想されたため、動画視聴の研修を昼食時に実施するなど時間配分に気を遣いました。実際は、時間が足らないと思われたコンテンツで、実技が非常に手際よく進んだり、器具が少なく時間がオーバーするコンテンツがあつたりしたので、次回開催する際の計画の参考にしたいと思います。

指導者の先生方は、各コンテンツの講習資料に沿って実技講習をしてくださいり、受講者からの様々な質問にも丁寧に対応して下さいました。それぞれのコンテンツを3回繰り返す、という長時間の講習をこなして頂いた上に、臨床経験に基づく貴重なお話もたくさん伺うことができました。次回からの講習会にもぜひご協力をお願いしたいと思います。

今後、全国の技師会では5年間（今年度は2年目）かけて、すべての臨床検査技師にタスク・シフト/シェア講習会を修了してもらうことを目標に講習会開催を続けていきます。講習会の内容は、施設によっては、明日からすぐに役立つことであれば、なかなか業務として行うのが難しいこともあるでしょう。長く同じ仕事をしてきた技師にとっては、せっかく新たな資格を得ても自分の施設では生かせないのでは、と思われるかもしれません。しかし、同じ国家資格を持つ臨床検査技師に、一部の業務に関して資格の有無という違いがあつてはなりません。

資格が付与されたからといって、すぐに新しい業務を始められるというものではありませんが、今回のタスク・シフト/シェアの動きは、臨床検査技師の活躍の場を広げるきっかけにはなるはずです。私自身は講習を受講して今まで知らなかった知識に触れ、新鮮な気持ちになりましたし、医師・看護師等、他職種の大変さも考えさせて勉強になりました。

まだ受講されていない皆さん、次回の実技講習は令和5年1～2月に予定しています。一回の受講人数は60名と少人数ですので、ぜひ早めの受講をお願いします。受講申し込みには基礎講習の修了が必須です。まずは700分の基礎講習（Web）から挑戦しましょう！



（講師デモンストレーション）



（腕に< SASUKE >を装着）

「令和4年度 地域医療介護総合確保基金」利用について

「地域医療介護総合確保基金」は、勤務医の労働時間短縮を図るために、労働時間短縮のための計画を策定し、勤務環境改善の体制整備に取り組む医療機関に対する助成を行う制度です。

その中にはタスク・シフト／シェアにかかる経費として『「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について』（令和3年7月9日医政発第0709第7号厚生労働省医政局長通知）に基づき各職能（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士）団体が実施する研修受講料等』が含まれています。

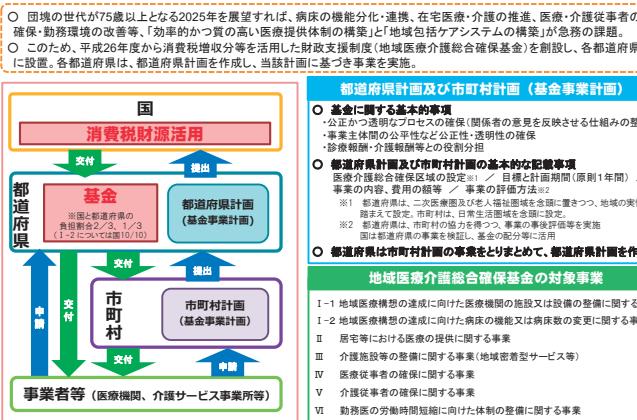
補助の対象となる医療機関（下記参照）の所属長は一読いただければと思います。詳しくは、厚労省ホームページの「地域医療介護総合確保基金」をご覧ください。

* 都道府県から厚労省への提出期限が令和4年10月28日（金）のため、提出期限については、香川県医療勤務環境改善担当者へお問い合わせください。

別紙2

地域医療介護総合確保基金

令和4年度予算額：貢献1,853億円（医療分1,029億円、介護分824億円）



地域医療介護総合確保基金（医療分）の対象事業①

I-1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業

急性期病床から回復期病床への転換等、地域医療構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携等について実効性のあるものとするため、医療機関が実施する施設・設備の整備に対する助成を行う。

（病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備等の医療機関体制の改革に向けた施設及び設備等の整備）

・平成28年度末までに策定された地域医療構想に基づいた病床機能の転換等に対する施設・設備整備に対する助成事業

・ICを活用した地域医療情報連携プラットフォームの構築を行なう事業

I-2. 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業

地域医療構想の実現を図る拠点から、地域医療構想整会議等の意見を踏まえ、自主的に行われる病床減少を伴う病床機能再編や、病床減少を伴う医療機関の統合等の取組に対する助成を行う。

（単独医療機関の取組に対する財政支援）

・病床数の減少を伴う病床機能再編等による医療機関に対する支援

（複数医療機関の取組に対する財政支援）

・病床数の減少を伴う統合計画に参加する医療機関に対する支援

・統合に伴い廃止される医療機関の残債を承継する医療機関に対し発生する利子について支援

II. 居宅等における医療の提供に関する事業

地域包括ケアシステムの構築を図るため、在宅医療の実施に係る拠点の整備や連携体制を確保するための支援等、在宅における医療を提供する体制の整備に対する助成を行う。

（在宅医療の実施に係る拠点・支援体制の整備）

・在宅医療の実施に係る拠点の整備／・在宅医療に係る医療連携体制の運営支援／・在宅医療推進協議会の設置・運営等

（在宅医療や訪問看護を担う人材の確保・養成に資する事業）

・在宅医療の実施に係る人材の確保／・訪問看護の促進、人材確保を図るための研修等の実施等

（その他の在宅医療の推進に資する事業）

・在宅医療の実施に係る拠点・支援体制の整備／・在宅医療や終末期医療における衛生材料や医薬用麻薬等の円滑供給の支援等

地域医療介護総合確保基金（医療分）の対象事業②

IV. 医療従事者の確保に関する事業

医師等の偏在の解消、医療機関の勤務環境の改善、チーム医療の推進等の事業に助成することにより、医師、看護師等の地域に必要な質の高い医療従事者の確保・養成を推進する。

（医師確保対策）

・医師・看護師等に対する人材養成のための研修の実施
・医師・看護師等に対する意欲を有する医学生に対する修学資金の貸与
・医療・救急・小児等の不足している職種の医師の医師確保支援
・女性医師等の育児休業・産休・育休・出産休・育休・育児休業の復職や再就業の支援等

（看護師員等確保対策）

・新人看護師・看護師員等の質の向上を図るためにの研修の実施
・看護師員が都道府県内に定着するための支援
・看護師等養成所の施設・設備整備、看護師員定着促進のための宿舎整備等

（医療従事者の勤務環境改修対策）

・医療勤務環境改修支援センターの運営
・各医療機関の勤務環境改善や再就職促進の取組への支援
・電話による小児患者の相談体制や休日・夜間の小児救急医療体制の整備等

VI. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

医師等の労働時間短縮を図るために、労働時間短縮のための計画を策定し、勤務環境改善の体制整備に取り組む医療機関に対する助成を行う。

（労働時間短縮に向けた総合的な取組に対する財政支援）

・勤務時間短縮に向けた総合的な取組に対する助成
・当直明けの勤務負担の緩和
・複数主担当制の導入
・女性医師等に対する短期勤務等多様な柔軟な働き方を推進
・タスク・シフトイング、タスク・シェアリング等

勤務医の労働時間短縮の推進（地域医療介護総合確保基金事業区分VI）

勤務医の労働時間短縮を図るために、労働時間短縮のための計画を策定し、勤務環境改善の体制整備に取り組む医療機関に対する助成を行う。（医療機関が行なう事業に係り都道府県が補助を実施）

勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

1. 補助の対象となる医療機関

地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっている都道府県知事が認めた医療機関。

（診療報酬上の「地域医療体制確保基準」を取得している医療機関は補助対象外）

①就用の自動車等による搬送件数が年間1,000件以上2,000件未満

②救急搬送件数が年間1,000件未満のうち、

・夜間・休日・時間外入院件数が年間500件以上で地域医療に特別な役割がある医療機関

・離島、八ヶ岳等で同一医療圏内に他に救急対応可能な医療機関が存在しない、特例的な理由の存在する医療機関

③地域医療の確保に必要な医療機関であって、

・周産期医療・精神科救急等、公益性と不確実性が強く働く医療を提供している医療機関

・脳卒中や心筋梗塞等の急性期医療を担う医療機関で、一定の実績を有するなど、5疾患の事業で重要な医療を提供している医療機関

④在宅医療において特に積極的な役割を担う医療機関

2. 支付の要件

月の時間外・休日労働時間が90時間を超える医師を雇用（雇用予定期）している医療機関で、年間の時間外・休日労働時間が960時間を超える36協定を締結している若しくは締結を予定していること。

令和4年度予算：96億円（公費1・4億円
令和4年度予算：96億円（公費1・4億円）
※地域医療介護総合確保基金（医療分）1,029億円の内訳

各協定の雇用予定期は、年間の時間外・休日労働時間が960時間未満の場合は20休未満として算定。

3. 補助対象経費

上記の総合的な取組に要する経費をパッケージとして補助。

4. 補助基準額

最大使用医療床数 × 133千円

※20休未満の場合は20休として算定。

《研修会のご案内》

① 2022 年度 香臨技 新（再）入会研修会

日 時：2022 年 10 月 2 日（日）9:00～12:00

場 所：香川県立保健医療大学 講義棟 3 階大講義室

内 容：「香川県臨床検査技師会・日本臨床衛生検査技師会について」「医療事故防止について」

「香臨技の精度管理事業について」「技師会広報活動について」「研究班活動について」

申込み：日臨技 HP から事前参加登録をお願いします。

事前参加登録期間：2022 年 9 月 5 日（月）～9 月 26 日（月）

参加費：無料 生涯教育研修：基礎 20 点

備 考：新型コロナウイルス感染拡大状況により Web 開催へ変更になる場合があります。

② 2022 年度 第 1 回 病理細胞検査研修会

連絡責任者：筒井 真人 ☎ 087-831-7101

日 時：2022 年 10 月 8 日（土）14:00～16:00

場 所：Web 開催（Microsoft Teams）

内 容：細胞検査士 1 次試験対策（細胞像）講師 1：安西 駿士（四国細胞病理センター）

講師 2：筒井 真人（高松赤十字病院）

申込み：日臨技 HP より事前参加登録をお願いします。

受付期間：2022 年 9 月 17 日～2022 年 10 月 4 日 参加資格：日臨技会員（県内会員に限る）

参加費：無料 生涯教育研修：専門 20 点

備 考：事前参加登録者には後日インビテーションメールを送付します。

アンケート提出をもって参加実績とさせていただきます。

③ 2022 年度 第 1 回 小施設分科会・生理検査研究班合同 Web 研修会

連絡責任者：藤澤 千絵 ☎ 0877-56-7777

日 時：2022 年 10 月 16 日（日）10:00～11:00

場 所：Web 開催（Zoom ウェビナーを用いたライブ配信）

内 容：テーマ『深部静脈血栓症』

講演「深部静脈血栓症の基礎知識」

エコーライブセミナー「深部静脈血栓症を疑うときの走査手順」 長町 美香（辻クリニック）

申込み：日臨技 HP から事前参加登録をお願いします（事前参加登録期間：2022 年 9 月 5 日～10 月 12 日）

参加資格：日臨技会員（ただし、県内会員に限る）

参加費：無料 生涯教育研修：専門 20 点

備 考：・事前参加登録された方には後日メールにて URL をお送りいたします。

・研修会終了後、アンケート提出をもって参加実績とさせていただきます。

④ 令和4年度 徳臨技・四県合同研修会（生理検査研究班）

連絡責任者：藤本 正和 ☎ 0879-25-4154

日 時：2022年10月30日（日）13:00～17:00

場 所：Web開催 ZOOMウェビナー

内 容：テーマ「インターベーション治療に関わるコメディカル業務の最前線」

- ① 心臓カテーテル領域における臨床検査技師の役割 ～心電図検査とエコー検査を中心に～
清水 速人（近森病院）
- ② 末梢血管領域における臨床検査技師の役割 ～血管機能検査とエコー検査を中心に～
林 愛子（松山赤十字病院）
- ③ 透析シャント領域における臨床検査技師の役割 ～シャントエコー検査を中心に～
小林 大樹（関西ろうさい病院）
- ④ SHD（心構造疾患）領域における臨床検査技師の役割 ～術前・術後のエコー検査を中心に～
遠藤 桂輔（倉敷中央病院）

申込み：日臨技HPより事前参加登録をお願いします。

受付期間：2022年9月1日（木）～2022年10月21日（金）

参加資格：四国四県の日臨技会員 定員：500名（先着）

参加費：無料（非会員 5,000円） 生涯教育研修：専門20点

備 考：プログラム等の詳細は日臨技HPをご覧ください。

学術部からのお知らせ

【香川県臨床検査技師会誌 論文募集】

学術部では、香川県臨床検査技師会誌の論文を募集しています。皆さんが学会等で報告した研究成果を論文形式にまとめてみませんか。初めての方でも担当部門の班長などが指導してくれますので、是非この機会に挑戦してみてください。書式については香川県臨床検査技師会誌の投稿規定を参照してください。

締切り：2022年10月17日（月） 連絡先：香臨技学術部 香西（nobuhide@dream.com）



2022(R4)年度 日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第55回)



会 期：令和4年10月22日（土）・23日（日）

会 場：広島国際会議場

テマ：共創「Co-Creation」「知識」「技術」「信頼」

担 当：一般社団法人 広島県臨床検査技師会

全国「検査と健康展」開催のお知らせ

日 時：2022年11月5日（土）10:00～12:30

場 所：香川県立保健医療大学 201・202講義室

内 容：①健康チェック（血管機能検査、骨量測定、血中酸素濃度測定）

②臨床検査・臨床検査技師紹介

備 考：新型コロナウイルス感染状況等により、イベント内容が変更・中止となる場合があります。

令和4度 香川県外部精度管理調査のご案内

香川県からの委託を受け、香川県医師会の協力のもとに行っている外部精度管理調査を下記の日程で実施いたします。令和4年度の案内状は9月14日（水）に発送済みです。

申込締切日：令和4年10月3日（月）必着

試料配布日：令和4年11月9日（水）午前中

対象項目：(1) 臨床化学検査 (2) 血液検査 (3) 輸血検査 (4) 免疫血清検査
(5) 一般検査 (6) 生理検査 (7) 微生物検査 (8) 病理細胞検査

問合せ先：高松赤十字病院 検査部 長町 健一

TEL：087-831-7101 E-mail：kensa@takamatsu.jrc.or.jp

備 考：試料については、新型コロナウイルス感染予防対策として、施設入口（玄関）で受け渡しとさせていただきます。貴施設到着後、試料受領責任者へ連絡いたしますので、速やかな受け渡しにご協力ををお願いいたします。



・編集後記・

新型コロナ流行の第7波もようやくピークを過ぎたのではと言われますが、県内でも1000人近くの報告者があがる日もあり、まだまだ安心できない時間が続いています。私も保育園の自粛などで何度も出勤困難として、お休みをいたしました事もありました。お互いに協力しながら、この状況を乗り越えていければと思います。

さて、こちらもコロナの影響で延期されていましたが、タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会が香川県でも始まりました。私もWebの基礎講習は修了していたのですが、今回は都合により参加できませんでした。本講習会は技師免許への資格追加ですので、次の機会には参加したいと思います。

藤重 和久（三豊総合病院）

～香臨技 求人情報～

現在、香川大学医学部附属病院、高松赤十字病院、はらおか医院内科・循環器内科、その他の求人情報があります。詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先：森本 弘美（香川県立中央病院 中央検査部）

アドレス：morippi7chin6445@gmail.com

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

Eメール：kobaboo0128@hotmail.co.jp

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

*香臨技ホームページ「会員専用」

（ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001）

臨検タイムス香川 通巻326号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 藤村一成 太田 安彦

【編集委員】 藤重 和久 森西 起也 森本 弘美

【製作】 有限会社シーアンドシーイシハラ

令和4年9月発行